

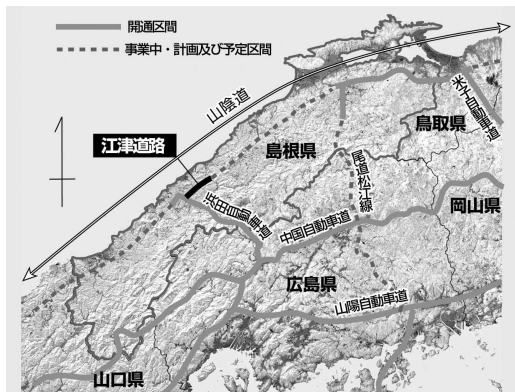
山陰道(江津道路)整備事業

受賞機関 国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所
日本道路公団中国支社広島工事事務所

はじめに

山陰道(江津道路)は、島根県の江津市と浜田市を結ぶ延長14.5kmの自動車専用道路として整備したものである。

本道路は、平成元年度に事業に着手し、平成12年12月からは、JH有料道路事業を加えた合併施工として建設を進め、平成15年9月21日に開通した。

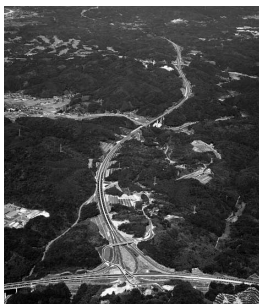


計画概要

道路規格：第1種3級

車線数：暫定2車線

設計速度：80km/h



浜田JCTから江津市に向かって



浜田JCT付近

事業の特徴

- (1) 舗装の大半の工事に、近隣の三隅火力発電所から発生する石炭灰を、下層路盤材(全体使用量32,000t)として活用し、産業の枠を越えたりサイクルを行った。
- (2) 高盛土箇所と比較的大きい内空断面を必要とする横断函渠にRCC(Rational-Compression-Condition)カルバート工法(L=110m)を採用した。鉄筋を用

いず、躯体(板状のコンクリート版)の積み重ねの構築と同時に盛土施工が可能で、工期短縮とコストの縮減を図った。全国で3例目であり、生コンクリートのみ(他は主に転圧コンクリートを採用)による工法では、全国で初めての試みである。



波子町RCCカルバート



江津西IC付近の植栽

(3) 当地が万葉の歌人柿本人麻呂にゆかりの地であることから「万葉の杜づくり」と称して、周辺の植物群落と整合をとり、樹林化を目指した植生吹付けや、万葉ゆかりの自生種を主体とした植栽を行っている。

(4) 道路内への小動物の進入防止を図るための柵や、抜け穴となりがちなU型水路部の進入防止柵を設置するなど、ロードキル防止に努めた。

(5) トンネルの面壁に、地元童画家による柿本人麻呂やしまね海洋館アクアスのシロイルカをデザインするとともに、橋梁(神主橋、敬川橋)の桁色に、地場産業である石州瓦(赤瓦)の色を用いる等、地域の特色と道路景観が一体となるように配慮した。

事業の効果

本路線は、終点で中国横断自動車道(広島浜田線)とJCTにより直接接続し、東西方向のネットワークの拡大とともに、広島など山陽方面へも拡大され、春夏のレジャーシーズンには、大幅な渋滞の緩和が期待されている。

賛助会員 アイサワ工業(株)、石川島播磨重工業(株)、(株)ウエスコ、大林道路(株)、オリエンタル建設(株)、(株)ガイアートT・K、株木建設(株)、極東工業(株)、(株)栗本鐵工所、駒井鉄工(株)、(株)サクラダ、佐田建設(株)、世紀東急工業(株)、セントラルコンサルタント(株)、高田機工(株)、(株)千代田コンサルタント、東亜道路工業(株)、(株)東京鐵骨橋梁、日本建設コンサルタント(株)、日本鋼弦コンクリート(株)、日本道路(株)、(株)日本ピーエス、(株)間組、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)福山コンサルタント、復建調査設計(株)、前田道路(株)、三井共同建設コンサルタント(株)、三井造船(株)、(株)横河ブリッジ、ライト工業(株)